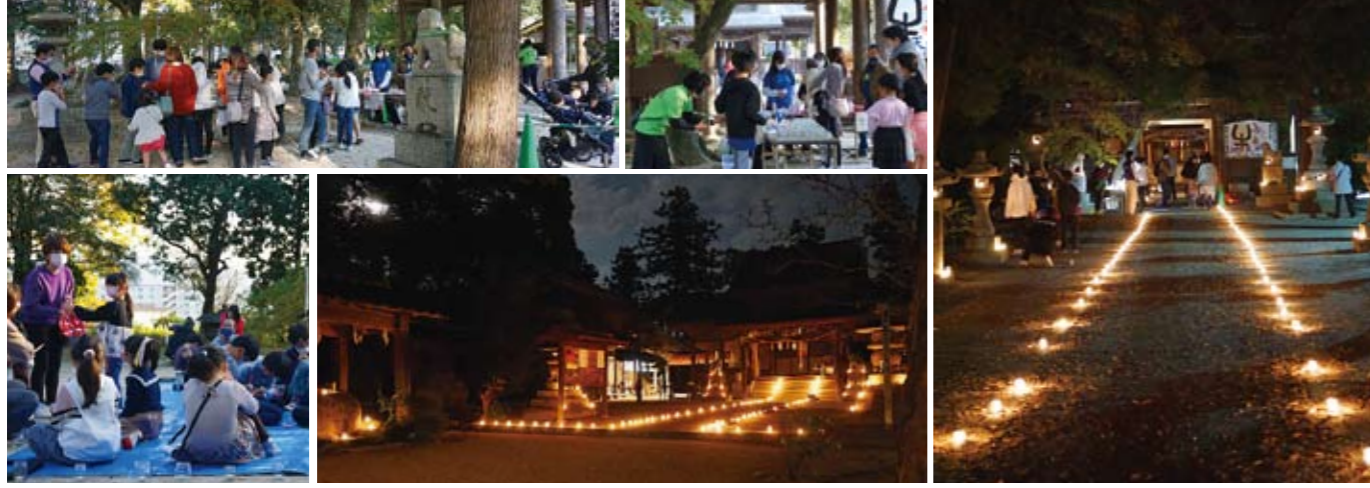


招 招 と し か わ の 歳 Information

■ こども部会キャンドルナイト

11月20日(土)朝田神社にてこども部会主催のキャンドルナイトが開催され、子どもたちが凜とした境内に美しい明かりを灯しました。



■ 防災委員研修を開催いたしました

11月25日19時から、各自治会の防災委員さん24名が研修会に出席し、防災危機管理課 小野主幹から「避難場所・避難方法」のお話と、幸坂美彦防災アドバイザーによる「防災基礎講座」を皆さん真剣に受講されました。



■ 令和3年度山口市表彰を受賞されました

26年間にわたり、山口市食生活改善推進員として地域の健康づくりに貢献されました。



白上おつ子さん

平田孝子さん

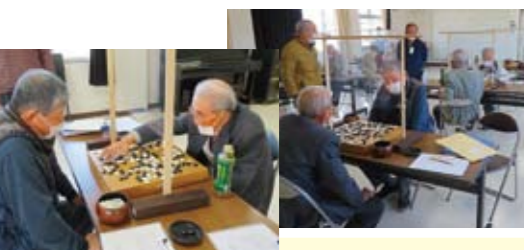
■ 交流列車おとし合同消防訓練を開催

12月13日10時から交流列車おとし運営委員とワークステーション、ハートハウスから25名の参加を得て、合同の消防訓練を開催いたしました。通報訓練、避難訓練、水消火器を使った消火訓練を行い皆さんは真剣に取り組まれていました。



■ 健康づくり・絆・交流の集い 囲碁・将棋大会

11月17日(水)に「健康づくり・絆・交流の集い」囲碁・将棋大会が行われました。



囲碁大会

優勝 坪郷 芳一(上矢原) 準優勝 岩村 基(上矢原)

将棋大会

優勝 内野 喜代志(下矢原) 準優勝 升田 正通(上矢原)

行/事/予/定 1~3月

- 1月 9日(日) 山口市消防出初式【山口県教育会館ホール】
- 1月 9日(日) 山口市成人式【山口市市民会館】^{↑場所が変わっています}
- 1月22日(土) どんど焼き【朝田神社】
- 3月10日(木) 鴻南中学校卒業式【鴻南中学校】
- 3月11日(金) 山口総合支援学校卒業式【山口総合支援学校】
- 3月18日(金) 大歳小学校卒業式【大歳小学校】

編集後記 98歳の義母がしきりに「ギョメイギョジ」とつぶやくそうだ。小学生の頃、直立不動で聞かされた教育勅語は御名御璽で終わる。だから苦痛からの解放への呪文に?コロナによる面会禁止も解除。ギョメイギョジが通じたネ。(武波)

まちづくりかわら版

おとし

2022.1 Vol.73



おとし 竹灯籠會

11月27日竹灯籠會を催すため、交流センターで1時から竹細工のための作業が始まりました。今年のはじめて行う、子どもとおとなが一緒になって汗を流した工作の時間、とても面白かったと笑顔が広がりました。夕方5時からローソクに点灯。SLにみたてた竹灯籠が美しく輝きました。



明けましておめでとうございます!

大歳地区の皆さま方におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で、地区行事を縮小または中止せざるを得ませんでした。今年こそはコロナ前の笑顔溢れる大歳地区に戻ってきますよう、まちづくり協議会役員一同、鋭意努力してまいりますので、ご支援、ご協力のほどよろしくお願い致します。

大歳まちづくり協議会 会長 馬越 帝介



寅年にちなんで
2022年は「壬寅」(みずのえとら)
厳しい冬を越え、芽吹き始め、新しい成長の礎となる年。
この一年がどうか皆様にとって笑いの多い年に。



表紙写真: おとし竹灯籠會(11月27日 大歳地域交流センター)

障がいを持つ こどものためのデイサービス



児童デイサービス

周布町の資源物ステーションの道路をはさんだ向かい側のビルの1階に「アプリ」があります。高齢者向けにデイサービスがあることはよく知られていますが、障がいをもつ児童用にもデイサービスがあることはあまり知られていません。もちろん、高齢者と同じように、一定の基準があり、療育手帳(知的な障がいがあるとの認定書)が必要です。

アプリは放課後、専用自動車で学校まで迎えに行き、終了後は自宅まで送るといふ高齢者向けと同じサービ

スを行なっています。現在、小学生から高校生まで15人が通っており、5~7人の職員が交代で見守っています。「高校生もとても静かに机に向かって、自分のやりたいことをやっています」とのこと。

長い間、障がいを持つ子どもの世話はすべて親まかせでした。児童デイサービスは、そうした家族の負担の軽減になると同時に、交流する楽しさを提供する場です。休日の皆でおでかけする行事などは子どもたちの大きな喜びになっています。



撮影のためマスクをはずしていません

アプリ児童デイサービス若宮町

〒753-0823 山口市若宮町1-67 ウェルネス周布1F
TEL 083-902-6149 FAX 083-902-6159

- 開設時間(日曜以外は開設しています)
学校のある日(月曜~金曜) 13時半~17時半
学校のない日(土曜・祝日・夏休み等) 10時~16時
- 運営 「介護の力(株)」が本社 山口市内現在3か所開設

Welcome Ootoshi

好評! 大歳の気になるお店

ラ・レコルト

Boulangerie La Récolte



今回は湯田温泉駅から歩いて2分、かわいいパン屋さん「ラ・レコルト」におじゃましました。

山口県母子・父子福祉センター(現在工事中)の並びの建物の一角です。お店の名前はフランス語の「実り」の意だとか。素敵な響きです。坂本さん夫婦が、この地にお店を開かれて6年以上たち、すっかりファンも増え、次々と幅広い世代のお客さんが来られます。

お店のオープンが11時50分からと少し遅めですが、平日は50種類以上のパンが所狭しと並べられ、美味しい匂いがいっぱい。厨房では黙々とパンを作るご主人の姿が見えます。お店のおすすめ・人気商品は、チョコレート・食パン・チーズフランスなどで、早々と売り切れてしまうそうです。こんなパン屋さんが家の近くにあれば、毎日でも歩いていくのになあと思ったことでした。

MENU

- シナモンフレッド 300円
- 明太子フランス 250円
- チーズフランス 250円
- 冷やしメロンパン 170円
- 食パン 250円(すべて税抜)



チーズフランス

かわら版モニター 交流カフェ かわら版にあなたのご意見を!

『まちづくりかわら版おとし』と一緒に作りましょう。お茶をしながら楽しくご意見を聞かせてください。2月5日(土)午前10時から、大歳地域交流センターで交流カフェを開催します。ご参加くださる方は大歳まちづくり協議会(☎920-1700)まで。

参加者募集!

大歳出身の 選手が春高バレーに出場!



1月5日に開幕した春高バレー(全日本バレーボール高等学校選手権大会)に、山口県代表として参加した高川学園高等学校。その出場選手に大歳出身の選手がいます。中でも、スターティングメンバーに入る門田凌也さんに、大会前にお話を伺いました。

大会出場は楽しみと話す門田さんは、1年生で身長は187cmとチームで2番目に高く、アウトサイドヒッターという攻撃的なポジションについています。大会への意気込みを伺うと「楽しみです」という答えが返ってきました。

今回の予選大会は高校生になってから初めての公式戦。しかも、3大会の一つ春高バレーの出場をかけた戦い。1年生での出場は緊張感もあったとのことですが、先輩方の助けもあって、実力を発揮しました。

大きな大会だけに雰囲気も普段の試合とは違います。緊張もあるのでは?という質問に、緊張はみんなとコミュニケーションをとることで解消する、それよりも楽しみな気持ちが強いとのこと。応援するこちらにも楽しみです。

バレーボールをはじめたきっかけは、ご両親の影響。小学2年生から本格的に始めました。身長にも恵まれ小学5年生で全国大会に出場、小学6年生では中国大会で優勝。その後、高川学園中学校に進学し、中学2年生の時には中国新人大会で優勝と着実に経験を積み重ねてきました。また、小学5年生から高校1年生まで参加してきた全国の合宿も良い経験に。

そうして迎えた山口県大会決勝の相手はインターハイ予選で惜敗したチーム。決勝点を決めたのは門田さんでした。

ゲームカウント2-0でリードしたまま迎えた第3セット。24-16とマッチポイントでセッターから大きく上がったトスはコートで待つ門田さんの前に。走りこんだ門田さんの目の前には2枚のブロック。しかし、高身長を生かし高いトスに合わせた門田さんは鋭いスパイクを上から叩き込む。強烈なスパイクはブロックの手を弾き、ボールはそのままコートの外に。全国大会への切符を手に入れた瞬間でした。

高校生になって初めての大舞台、これから先、より大きく羽ばたくための大きな一歩となったに違いありません。門田さんは人柄、実力、どれをとっても将来が楽しみなアスリートです。これからも応援していきたいと思います。



写真で見る 大歳今昔 Vol.4 市営バスが走っていた道

大歳小学校の前から湯田温泉へと続く道は、石州街道です。この道は、以前紹介した軽便鉄道も敷かれていた、大歳の主要な道です。時代が進むと当然、鉄道から自動車へと変わっていきます。現在のように自家用車が当たり前となる前は、バスが多くの方の重要な足でした。バス路線は、市内を網の目のように張り巡らされていました。昭和38年3月の路線図では、石州街道を通過して、大歳駅や高田橋の方までバスが通っていたことがわかります。



人々の大切な交通機関として、バスは欠かせないものだったのでしょうか。この記事を読まれている高齢の方々も当時はバスでいろいろな所へ出かけられていたのではないのでしょうか。今回、当時のバスが写った写真を探したのですが、見つかりませんでした。あまりに生活に根ざしたものだだけに写真に撮られた方は少なかったのではないのでしょうか。しかし、今となっては残念です。

人は、本当に大切なものは無くした後に初めて気づくと言います。現在に生きている私たちの周りにも気づかずに失っているものが多いのではないのでしょうか。

最後に市営バスの当時の塗装がわかるイラストを文献から引用して紹介します。



引用文献:
55年のあゆみー赤バスと過ごした日々ー 山口交通労働組合
山口市営バスの記憶 「山口市営バスの記憶」編集会